

「お互いさまスーパー」創設事業の実施地区について

平成28年2月24日
活力ある集落づくり支援室

1 実施地区決定までの経緯

- ・5月 実施地区の市町村推薦募集 ※3市2町より5地区の推薦
- ・7月 先進地視察(2地区参加)
- ・11月 実施地区の市町村推薦 ※1市より1地区の追加推薦
- ・12月 実施3地区決定【羽後町仙道(9月)、五城目町浅見内、由利本荘市赤田(12月)】

2 実施地区の概要

市町村	地区名	世帯数	運営形態・特徴
羽後町	せんどう 仙道地域	世帯数：378世帯 人口：1,071人 高齢化率：43.1% 最寄店舗：19km 25分(車)	地区の有志が経営する商店を地域が経営するショップにリニューアル。 首都圏羽後町会と連携して、会員を募集し、会員向けに地場製品のカタログ販売等を実施予定。
五城目町	あさみない 浅見内地域	世帯数：117世帯 人口：266人 高齢化率：56.0% 最寄店舗：10km 17分(車)	旧児童館を活用し店舗を新規開設。 現在実施している高齢者向けサロンや、買い物バスの運行などの既存の活動と連動させることで、より強力な地域の活性化を推進する。
由利本荘市	あかた 赤田地域	世帯数：114世帯 人口：352人 高齢化率：44.0% 最寄店舗：6km 15分(車)	既存の直売所に店舗機能を追加。 地域が進めている直売所の運営、首都圏への山菜出荷、惣菜加工と連動し、将来的には移動販売、惣菜給食、高齢者の見守り支援等の展開を目指す。

3 今後の方向性について

- ① 組織の法人化や移動販売、給食事業、過疎地有償運送等の各種活動の展開を支援することにより、農山村地域における「小さな拠点」としてのモデルの確立を目指す。
- ② 3地域の取組内容がそれぞれに独自性を有していることから、ネットワークを形成して、相互出荷や食品加工等の取組につなげていく。